

『コンビニ人間』

- 「普通」を問う鋭い視点
  - 「普通」という概念に鋭く切り込む物語
  - 主人公・古倉恵子
    - 
    - 周囲からの圧力 → 結婚、普通の仕事
    - 独特の感性と思考
    - 少し変わった人と見られている
  - 多様な人物像
    - 社会の期待に応える人々
    - 自己の世界に閉じこもる人々
    - 自分なりに折り合いを見出す人（恵子）
- コンビニが映す社会像
  - 

    コンビニ
    - 現代日本社会を象徴する空間として描写
    - 現代社会の縮図 → 効率性と利便性を追求
    - 店員に求められるマニュアル的な行動
  - 恵子にとってのコンビニ
    - ☑ 社会に適応できる唯一の場所
    - ☑ 個性を抑圧する場所でもある
    - ⇒ 二面性が現代社会での個人を反映
- 鋭い観察眼が描く世界
  - 著者・村田沙耶香
    - シンプルでありながら鋭い観察眼
    - 週3回コンビニバイト経験
    - ⇒ 作家としての洞察力と実体験が融合
  - 
    印象的な登場人物
    - 家族＝「普通」の生き方を押し付ける存在
    - 同僚＝コンビニ内の「小さな社会」での関係
    - 友人＝社会の「普通」の価値観を代表する存在
    - 白羽＝大きな変化をもたらす重要な存在